

国診協 地域包括医療・ケア研修会

平成27年1月23日15時 第一ホテル両国「KFCホール」

パネルディスカッション

「地域包括医療・ケア」を 推進するための基盤づくり

三浦市立病院
総病院長 小澤幸弘

パネルディスカッション
「地域包括医療・ケアを推進するための基盤づくり」

- 司会 梶井眞二 大分県・国東市民病院長
- 発表者 橋本祐輔 大分県・豊後大野市長
- 発表者 小澤幸弘 神奈川県・三浦市立病院総病院長
- 発表者 村上竜平 香川県・三豊総合病院事務長

三浦市立病院における

- これまでの取り組みと現状
- 地域包括ケア病床導入に向けての経緯
- 期待される経営改善効果

三浦市立病院 沿革

昭和27年 「三崎町国民健康保険直営病院」開設
東京大学物療内科中心、医師5名
地域医療をささえるため



昭和63年 「三浦市立病院」
横浜市立大学関連施設、医師15名（最多23名）
急性期病院めざす



平成16年 「三浦市立病院」新病院建設

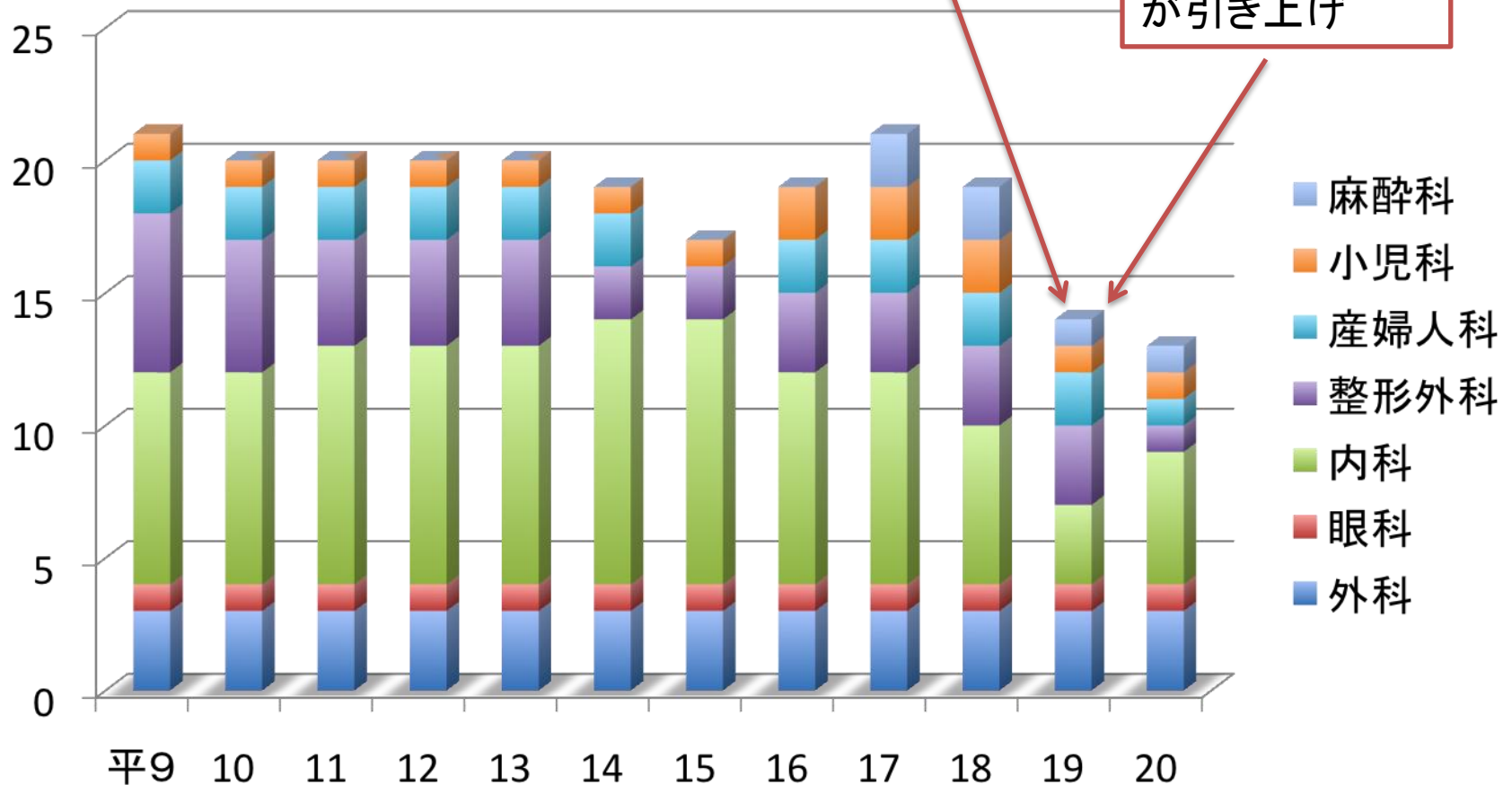
平成19年 「三浦市立病院」医療崩壊
院長が転出し、内科・整形外科が撤退、医師13名（最少11名）
「三浦ならではの」地域医療の確立をめざす（保健・医療・福祉の一体化）

医療崩壊

大学医局からの医師撤退

小児科の入院中止
時間外救急対応中止
産科の中止

大学医局
内科・整形外科
が引き上げ



「三浦ならではの」の地域医療

- 救急24時間365日応需医療体制を堅持し、急性期病院としての質を確保する。
- 行政、診療所と一体化して健康診断を促進し、三浦市民の健康増進をはかる。
- 多くの介護老人施設と密接な連携を構築する。



地域での保健、医療、福祉の一体化

「三浦ならではの」の地域医療の確立

保健・医療・福祉を地域で一体化していくことをめざす



- **地域密着型**の連携体制を構築する。
- 病院より一歩外に出ることにより他の機関との協働をすすめ、連携を強化する。
- 院内の体制を強化する。

三浦市立病院

診療科 内科・神経内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・
リハビリテーション科・麻酔科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科

病床数 136床(地域包括ケア24床)

職員数 医師14名・看護師80名・医療技術30名・事務9名・計133名



救急告示病院

一般病棟入院基本料 10対1

運動器リハビリテーション(I)

脳血管リハビリテーション(I)

強化型在宅療養支援病院

20km

地域圏ケアミックス体制の構築

院内整備

- 医師確保
- 病棟再編
- 地域医療科新設
- リハビリテーション拡充

院外連携

- 中核病院との連携
- 在宅診療
- 調査研究事業
- シンポジウム

地域包括ケア病床まで

院内整備

平20: 亜急性期病床13床
平22: 地域医療科新設
平22: 在宅療養支援病院
平24: 亜急性期病床20床
平24: 強化型在支病
平25: リハビリ拡充

院外連携

平22: 在宅診療開始
平24: 「三浦ならではの」の高齢者医療・介護連携の確立のための調査研究事業
平25: 訪問リハビリ開始
平26: シンポジウム「在宅看取りを考える」開催

入院病棟の再編

平成20年

- 2F 一般急性期病棟 42床
- 3F 外科系急性期病棟 47床
- 4F 内科系急性期病棟 47床



- 2F 外科系急性期病棟 42床
- 3F 内科系急性期病棟 47床
- 4F 亜急性期を含む一般病棟 47床(13)

地域で急性期から回復期そして在宅へと
切れ目のない療養環境を構築する

課題①介護との機能的な連携

②リハビリテーションの充実

医療相談室から地域医療科へ

平成22年

療養介護施設に
患者の受け入れを依頼



在宅診療を開始することにより
療養介護施設の立場を共有し
地域での一体化をめざす

院内の診療体制

平成22年

一般病床 3病棟の診療区分

2階病棟(42床) 外科系急性期

3階病棟(47床) 内科系急性期

4階病棟(47床) 亜急性・慢性期

地域医療科は在宅診療を行っているが、今後4階病棟と協働し退院直後の訪問看護を展開し既存の訪問看護ステーションにつなげる。

三浦市立病院 地域医療科

社会福祉士2名、事務員1名、看護師3名(1名兼任)、医師3名(兼任)

平成22年
3月まで

「医療相談室」が相談業務や退院支援、地域医療連携業務を担当

平成22年
4月
5月

「地域医療科」に改編

訪問診療開始(平成26年2月までに334名の訪問診療)

在宅療養支援病院に登録

平成23年
12月

医療保険での訪問看護実施

(市内4カ所の訪問看護ステーションと24時間連携)

平成24年
4月

強化型在宅療養支援病院に登録

平成25年
2月
5月

医療保険での訪問リハビリ

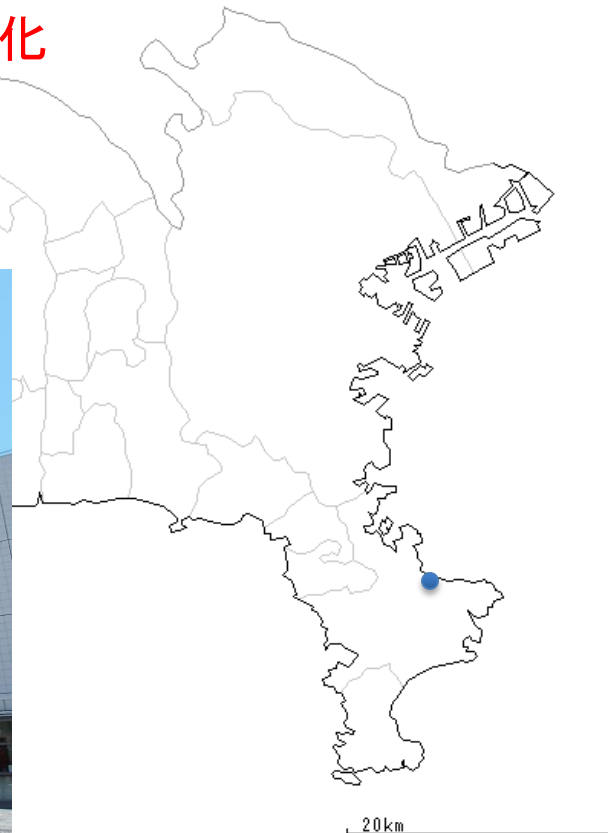
介護保険での訪問リハビリを開始

神奈川県立保健福祉大学

看護学科・栄養学科・社会福祉学科・リハビリテーション学科

「ヒューマンサービスの実現」

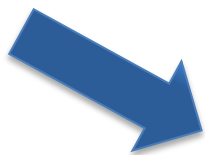
- ① **保健・医療・福祉の連携と総合化**
- ② 生涯にわたる継続教育の実現
- ③ 地域社会への貢献



リハビリテーションの拡充

平成24・25年

県立保健福祉大学を中心にOT3名、PT12名体制に



長い間、PT3名体制



院内における体制強化

平成25年

- 救急体制の進化を止めない
- 2階は三浦市立病院の外科系急性期病床らしく
- 3階は三浦市立病院の内科系急性期病床らしく
- 4階は地域医療科、リハビリテーション科と協働して三浦市の亜急性期病床らしく



すなわち、4階のベットは47床のみにあらず。
退院後の在宅のベットもふくむ。

第62回神奈川県国保診療施設部会

平成24年5月26日



神奈川県5病院6診療所
三浦市立病院主催

シンポジウムテーマ

「高齢化社会における
地域連携の構築に向けて」

「三浦ならではの」の高齢者医療・介護連携 の確立のための調査研究

「三浦ならではの」の
高齢者医療・介護連携
の確立のための調査研究
平成 24 年度
事業報告書



三浦市立病院
平成 25 年 2 月

「三浦ならではの」の
高齢者医療・介護連携の
確立のための調査研究
(在宅医療連携拠点づくり事業)
平成 25 年度
事業報告書



平成 26 年 3 月
三 浦 市



「三浦ならではの」の高齢者医療・介護連携 の確立のための調査研究

平成24年度

「三浦ならではの」の
高齢者医療・介護連携
の確立のための調査研究
平成24年度
事業報告書



三浦市立病院
平成25年2月

- 対象
市内診療所
訪問看護ステーション
特別養護老人ホーム
- テーマ
「地域の医療機関全体で支える
24時間在宅医療体制の構築」
「医療と介護の連携」

「三浦ならではの」の調査研究事業と実際の取り組みを継続していく

平成24年

調査研究の結果を紹介し、

在宅ターミナルケアを取り巻く問題と地域連携上の課題、今後の展望について述べる

平成25年9月30日発行

地域医療

ISSN 0289-9752

平成25年9月30日発行

地域医療

Vol.51
No.2

●特集 論考 在宅ターミナルケアの課題と展望

さくらいクリニック院長 桜井 隆／北広島町雄鹿原診療所所長 東條環樹／おおい町国保名田庄診療所所長 中村伸一
三浦市立病院地域医療科担当医長 兒玉 末 総病院長 小澤幸弘／諏訪中央病院在宅診療部部長 高木宏明

■「国診協 海外保健・医療・介護・福祉視察研修レポート」香川県 綾川町国保陶病院院長 大原昌樹

■「現地研究会レポート」長野県 佐久市立国保浅間総合病院技術部長兼歯科口腔外科医長 奥山秀樹

■連載

インタビュー●厚生労働省老健局振興課長 朝川知昭

エッセイ●地域包括ケアはなぜ必要なのか／厚生労働省政策統括官（社会保障担当） 唐澤 剛

市町村長からのメッセージ●地域包括ケア——豊後大野市の状況から／大分県 豊後大野市長 橋本祐輔

フロント・オピニオン●社会制度改革国民会議報告書をどう受け止めるか？／国診協副会長 押淵 徹

診療所新時代—いまこそ診療所の時代！●和歌山県 古座川町国保明神診療所所長 森田裕司

国保直診 新時代への挑戦●山梨県 身延町早川一部事務組合立飯室病院院長 朝比奈利明

国保直診の看護現場から●千葉県 国保直営総合病院君津中央病院看護部長 齊藤みち子 皮膚・排泄ケア認定看護師 今野日登美

訪問看護認定看護師 杉原幸子 感染管理認定看護師 堀井俊男 がん性疼痛看護認定看護師 尾形良子

地域包括医療・ケア推進のカギは地域連携にあり●長野県 国保佐田診療所地域医療連携室 藤森嘉代子 看護部長 両角直子 院長 三澤弘道

介護予防・健康づくりに挑戦！●大分県 姫島村健康推進課保健師 小島希実

地域における包括的口腔ケア活動●愛媛県 四国中央市新宮歯科診療所歯科医師 森 秀樹



全国国民健康保険診療施設協議会
JAPAN NATIONAL HEALTH INSURANCE CLINICS AND HOSPITALS ASSOCIATION

高齢者の医療と介護の連携にかかる提言・提案

「できることから取り組む姿勢」

- 退院前カンファレンス（担当者会議）の方法の変更と拡充
- 公開講座の開始

施設各位

三浦市立病院 平成25年度 公開講座のご案内

平成25年度の勉強会を下記の内容・日程で開催いたします。各講座、基礎から実践活用まで3～4回シリーズでの開催を予定しています。
多くの方のご参加をお待ちしております。

☆感染対策講座

- 第1回 5月21日(火) 手洗いと手指消毒
- 第2回 7月16日(火) 疥癬について
- 第3回 9月24日(火) ノロウイルスについて
- 第4回 11月5日(火) インフルエンザについて

☆褥瘡対策講座

- 第1回 6月14日(金) 褥瘡発生の原因・予防について
- 第2回 9月20日(金) 褥瘡処置について
- 第3回 12月10日(火) ポジショニングについて

☆緩和ケア講座

- 第1回 7月8日(月) 緩和ケア～良き死に向けて～
- 第2回 11月8日(金) エンゼルケアについて
- 第3回 2月12日(水) 地域の中の看取り

☆リハビリテーション講座

- 第1回 5～6月頃 移乗動作の介助方法
- 第2回 9～10月頃 転倒予防
- 第3回 1～2月頃 リハビリテーションサマリーのあり方(仮)

※申し込み方法

講座開催日の1か月前に内容等の詳細をメールにてご連絡いたします。
締切りまでに、メールにて申し込みをお願いします。

平成25年度より 公開講座を開始する

対象

(メーリングリスト作成し広報)
訪問看護ステーション
特養、老健、グループホーム等
クリニック、診療所
行政、保健福祉事務所など

テーマ

- ①感染対策講座
- ②褥瘡対策講座
- ③緩和ケア講座
- ④リハビリテーション講座

公開講座 「リハビリテーション講座」

平成25年7月3日



「三浦ならではの」の高齢者医療・介護連携 の確立のための調査研究

平成25年度

- 対象
ケアマネージャー
高齢者向け入居型介護施設
- テーマ
「在宅看取り」
幸せな最期を迎えるために
必要な医療と介護の連携の課題

「三浦ならではの」の
高齢者医療・介護連携の
確立のための調査研究
(在宅医療連携拠点づくり事業)
平成25年度
事業報告書



平成26年3月
三 浦 市



シンポジウム 在宅看取りを考える

平成26年3月15日

在宅看取りを考える



病院で最期を迎えますか？

在宅で最期を迎えますか？

みなさん一緒に考えましょう！！

日 時：平成26年3月15日（土）14:00～16:00

場 所：三浦市民ホール（うらり2F）

主 催：三 浦 市

共 催：三浦市医師会・神奈川県三崎保健福祉事務所

主 管：三浦市立病院

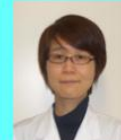
その他：入場無料（お気軽にお越しください！）

《 プ ロ グ ラ ム 》

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1 開 会 | 14:00～14:05 |
| 2 主催者あいさつ | 14:05～14:15 |
| 三浦市長 | 吉 田 英 男 |
| 三浦市医師会副会長 | 矢 島 眞 文 |
| 3 基調講演 | 14:15～15:00 |
| テーマ：「在宅看取りを考える」 | |
| 講 師：児 玉 末（こだま こずえ） | |
| 4 休 憩 | 15:00～15:10 |
| 5 パネルディスカッション | 15:10～15:55 |
| テーマ：「在宅看取りと医療・介護連携」 | |
| コーディネーター：小澤幸弘（三浦市立病院総病院長） | |
| パネラー：徳山 （三浦市医師会・徳山診療所院長） | |
| 青木芳隆（三浦市ケアマネ連絡会会長） | |
| 草間理子（せいれい訪問看護ステーション油壺所長） | |
| 井上政江（特別養護老人ホームはまゆう施設長） | |
| 児玉 末（三浦市立病院内科医師・地域医療科担当医長） | |
| 6 閉 会あいさつ | 15:55～16:00 |
| 神奈川県三崎保健福祉事務所長 | ハ ツ 橋 良 三 |

《基調講演講師プロフィール》

平成22年4月1日 三浦市立病院奉職。同日、市立病院に地域医療科が発足し、以来、担当医長として活躍。内科医師として院内で日常診療をしながら、70名余りの在宅の患者さんを訪問診療し、24時間体制で支えている。市立病院奉職以来、訪問診療患者数は300人を超え、在宅で看取った方々は、70名を超えている。（H26.1.1現在）



【本人からひとこと】

三浦の人々のあたたかさ、在宅医療・介護に携わる方々の厚い思いに支えられて、ここまでやってきました。

関係者は顔の見える関係にあり、協力体制も強固で、全国に誇れる連携の輪が、三浦にはあると思っています。

「在宅看取り」の話を通じて、高齢者と、高齢者を支える地域社会、人生の最期をどう迎えるかなどについて、考えていきたいと思います。

シンポジウム 在宅看取りを考える

平成26年3月15日



シンポジウム 在宅看取りを考える

平成26年3月15日

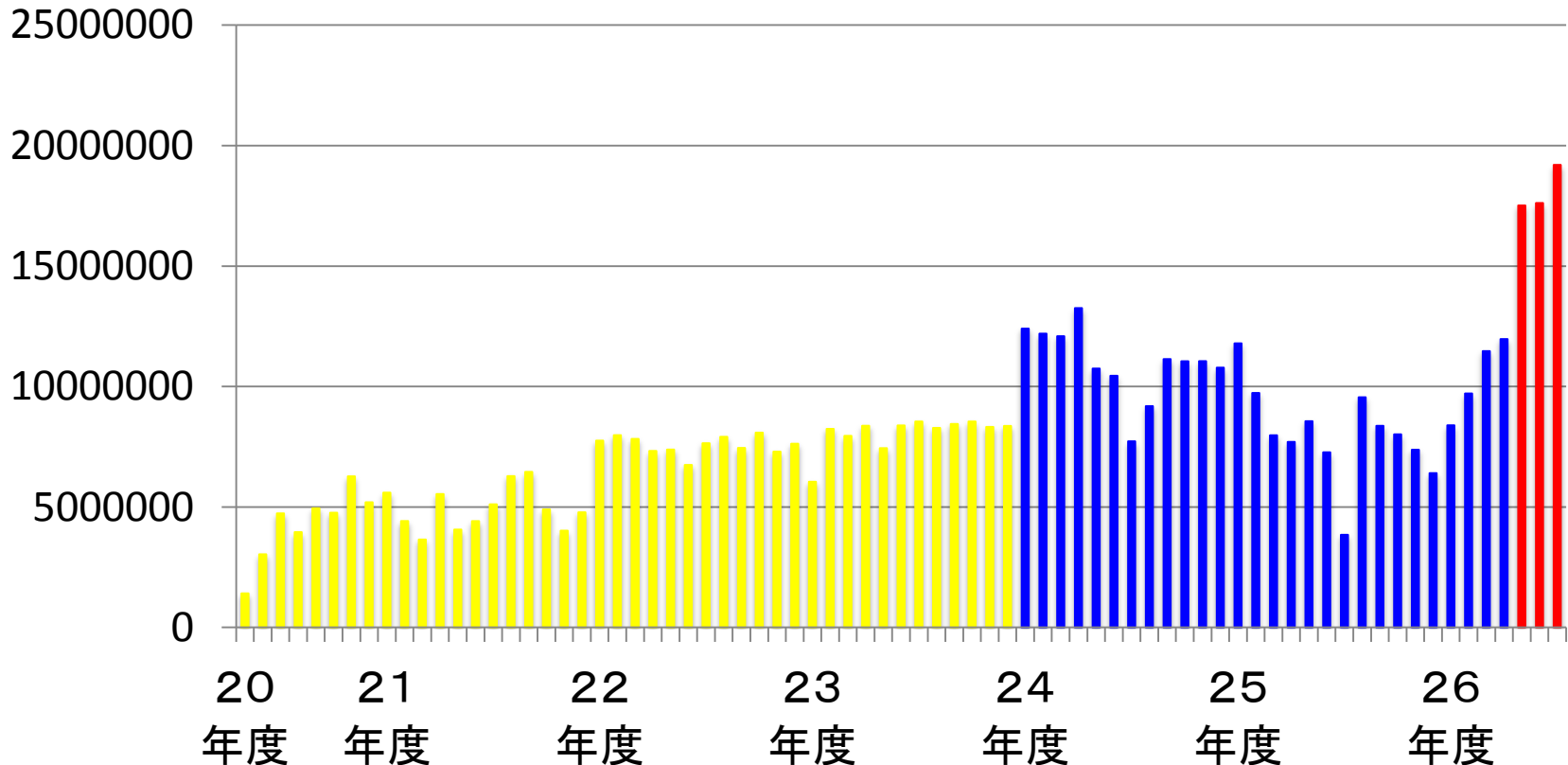


平成26年度診療報酬改定

「地域包括ケア病棟」新設

経営改善効果

収益(円／月)

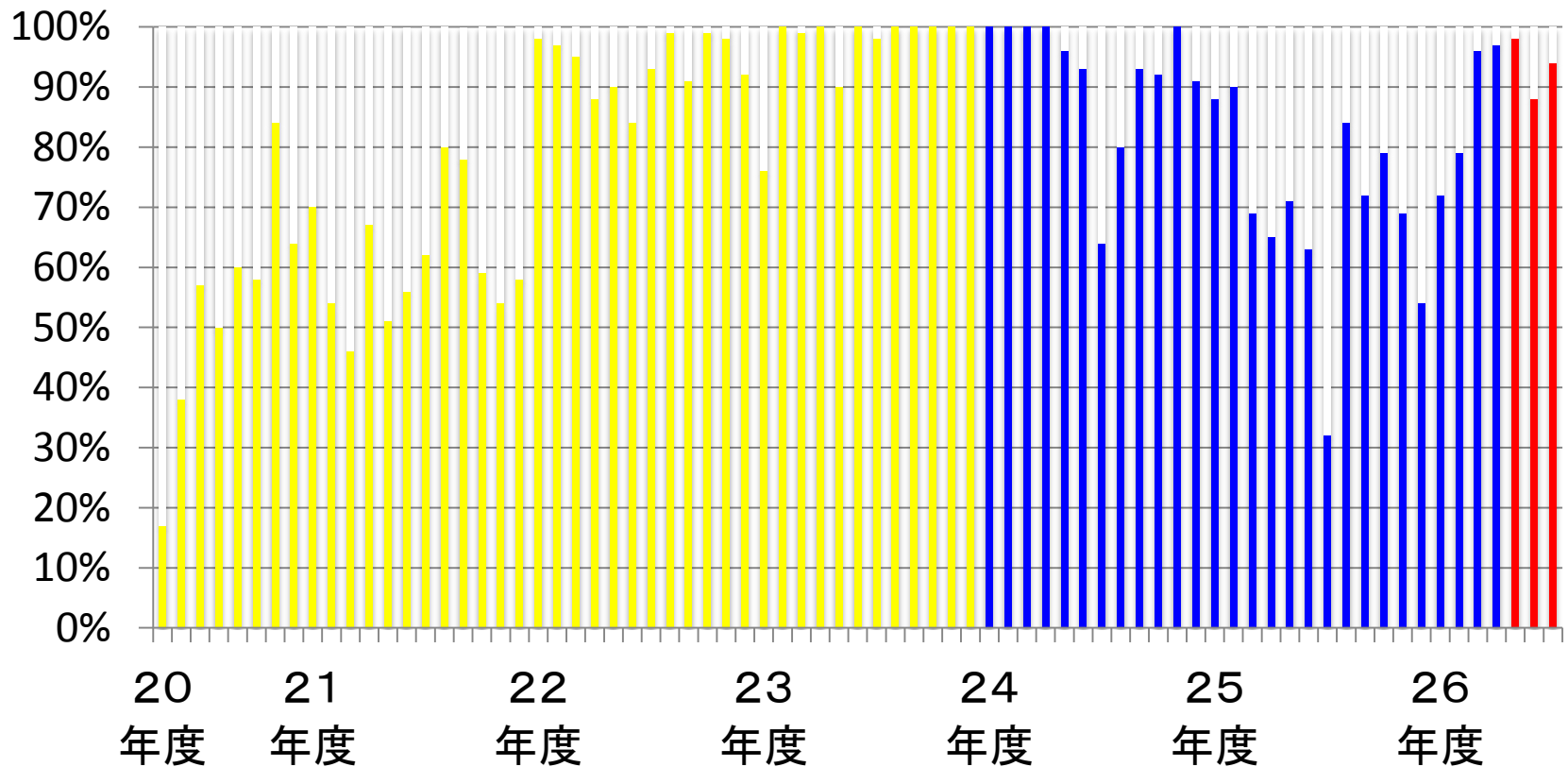


- ・平成20年8月に亜急性期病床13床でスタートした。
- ・平成24年4月から新たな基準の亜急性期病床に再編し20床に増床した。
- ・平成26年9月から地域包括ケア病床24床に変更した。

経営改善効果

— 亜急性期13床 — 20床 — 地域包括ケア24床

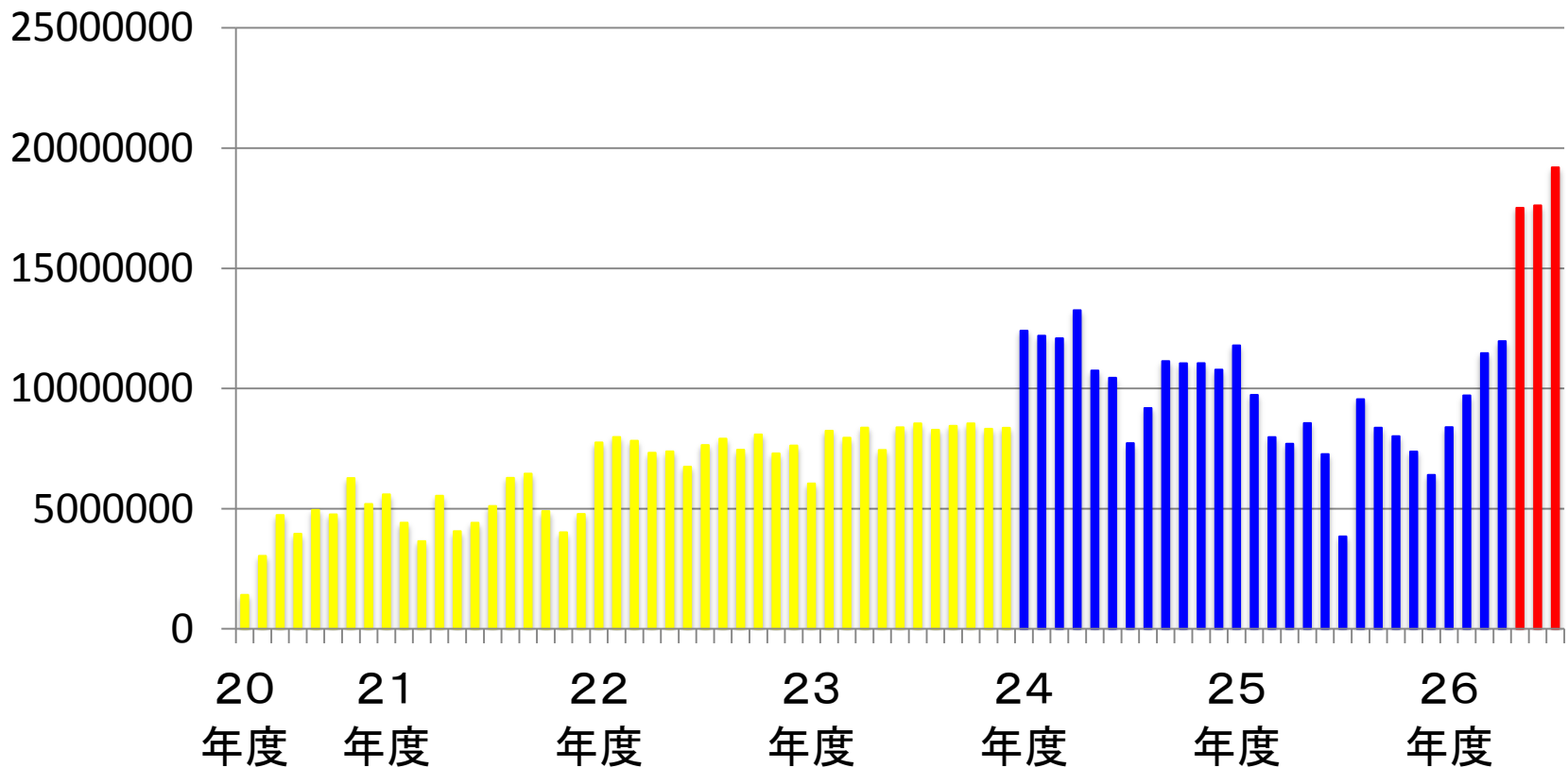
占床率(%)



経営改善効果

— 亜急性期13床 — 20床 — 地域包括ケア24床

収益(円／月)

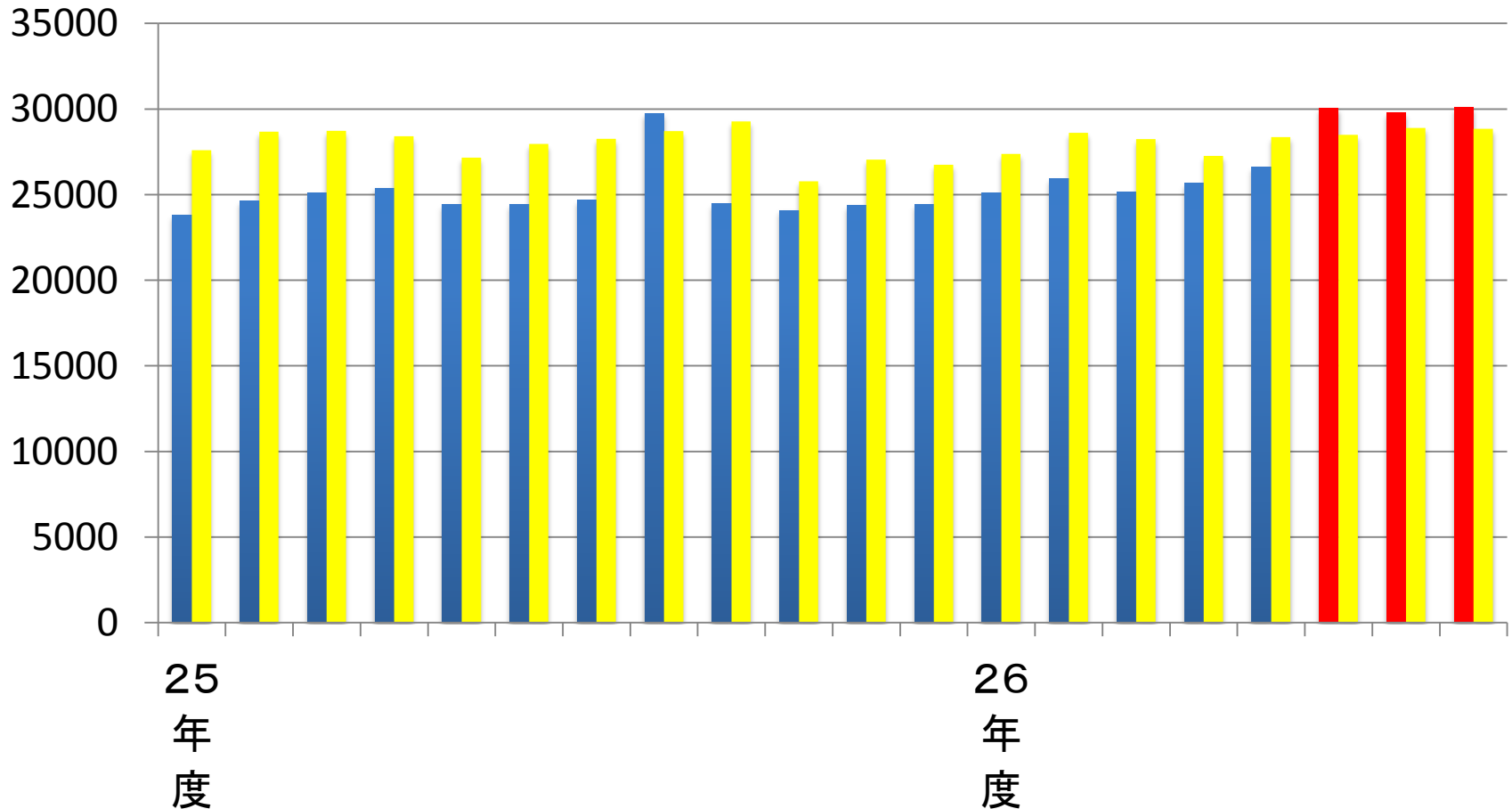


亜急性期病床と地域包括ケア病床

内科入院単価

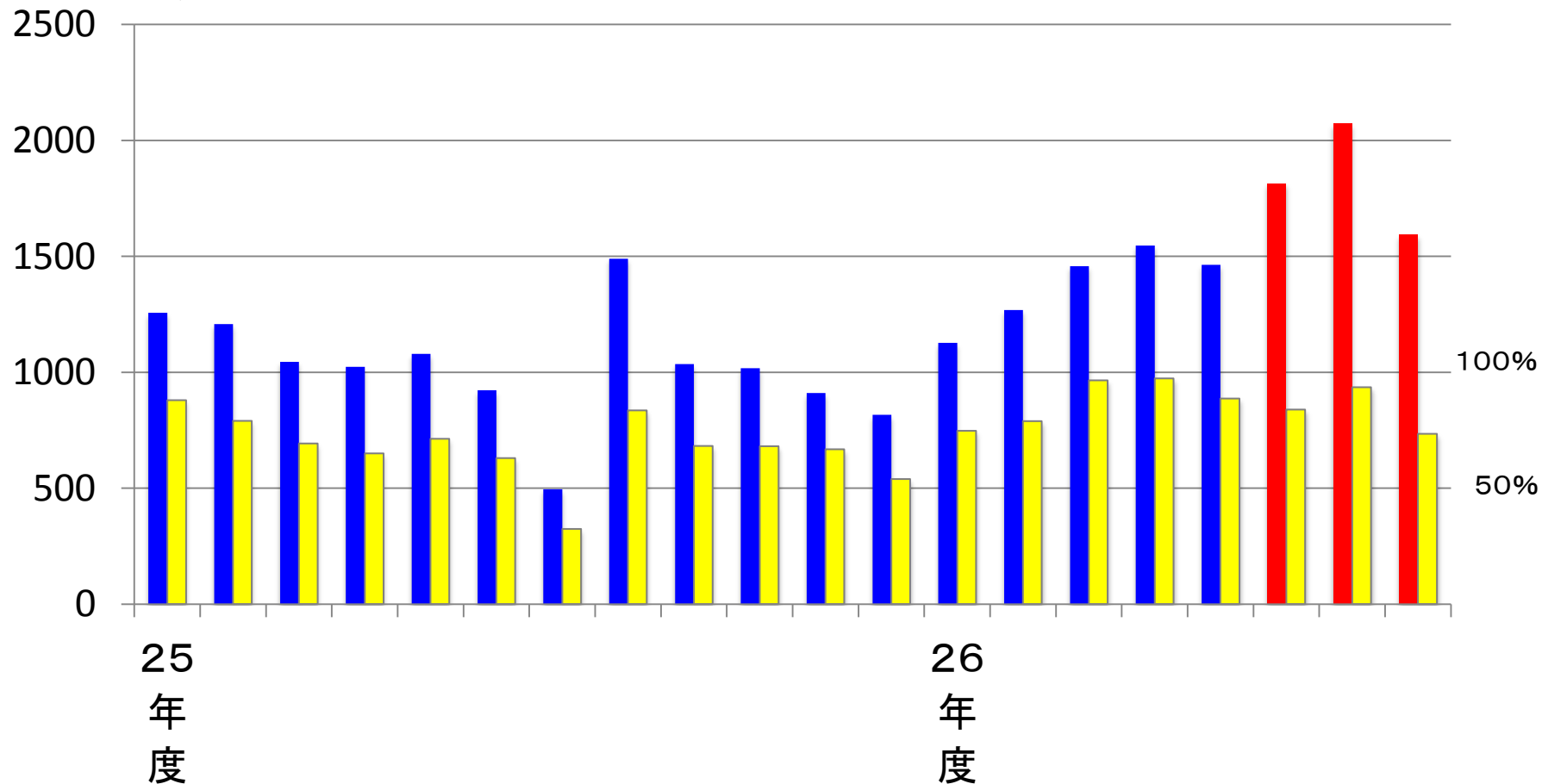
リハ2単位は必須となったが包括点数が引き上げられたことにより、内科全体の入院単価を凌駕する状況となった。

(円)



亜急性期病床と地域包括ケア病床 占床率

占床率に連動して収益の変動がみられる。占床率アップが重要な要素となる。
(万円／月)



地域中核病院との連携

地域中核病院

大学病院

横浜市立大学附属

横須賀市民



うわまち病院



横須賀共済



地域包括ケア設置
地域密着型病院

衣笠病院



聖ヨゼフ



三浦市立



20km

三浦半島地区で 四病院連携を目的として シンポジウムを企画

—地域中核病院—

横須賀共済病院(735床)

—地域包括ケア病床設置—

三浦市立病院(136床)

衣笠病院(251床)

聖ヨゼフ病院(146床)



☆テーマ☆

「地域包括ケアシステムと機能分化・連携の推進」

開会あいさつ 横須賀共済病院 病院長 長堀 薫

司会 横須賀共済病院 診療部長兼地域連携センター長
豊田 茂雄 先生

演者 衣笠病院 病院長
鈴木 博 先生

三浦市立病院 内科担当医長兼地域医療科担当医長
兒玉 末 先生

聖ヨゼフ病院 地域包括ケアセンター長
今岡 靖浩 先生

場所:横須賀共済病院 外来棟5階講堂

日時:平成26年 **10月16日** (木)18:00~

対象:横須賀共済病院職員及び連携医療機関

主催/横須賀共済病院(地域連携センター)
共催/横須賀共済病院 学術図書チーム・看護部



平成27年1月1日

「四病院地域連携運営要項」施行

「地域包括医療・ケア」の基盤づくりに最も必要こと

地域に密着した中小病院の医師

いわゆる**総合医**

を育てること